



かけはし

第57号

令和7年10月1日

編集・発行
須賀川市農業委員会
TEL.0248-88-9165
(直通)



目次

小塩江地区の果樹畑にて、「認定こども園らみどり」の園児たち約30名が、モモを収穫するまでの一連の作業体験をしました。

モモの木を見るのは初めてという園児もいた中、7月にまだ青いモモに病虫害予防の袋を掛ける作業にはじまり、その後、袋をはずす作業そして8月下旬の収穫作業と、園児たちは猛暑にも勝る好奇心で元気いっぱい作業をしていました。モモがちょっと苦手と言っていた園児も、作業を経験する中で愛着が湧いたのか、収穫の際にはいい香りのモモを手笑顔がほころんでいました。

農業委員会では、今回のような農作業の体験をとおして「食農教育」活動を推進しており、今後も子どもたちが農業に興味を持てるよう協力していこうと思います。

広報委員 橋本 孝一

- ・表紙 1
(認定こども園らみどり食農教育活動)
- ・農業委員・農地利用最適化
推進委員活動紹介 2
- ・須賀川市農地情報提供制度 3
- ・デジタル化を進めています 3
- ・こども園の田植え体験に
協力しました 4
- ・農業者年金に加入しませんか? 4
- ・福島県「うまい米」決定戦
開催のお知らせ 4

農業委員・農地利用最適化推進委員の 主な活動を紹介します!



農地利用状況調査を実施しました

広報委員 宗像 敏雄

6月から8月にかけて、遊休農地化しつつある農地の実態把握を目的として、農地の利用状況調査を実施しました。

調査を行った結果、各地域の農業委員・農地利用最適化推進委員からは、農家の高齢化や後継者不足等により遊休農地化している場所が多く見受けられるとのこと。今後については、所有者の方に農地利用の意向を調査し、遊休農地化しないよう確認作業を行う予定です。いったん荒らしてしまった農地を元に戻すのは、容易ではないため、適切な農地管理が必要です。

調査をとおして委員それぞれが、担当地域の農地利用状況を把握し、その問題点を掘り起こして、農業の活性化につながるよう取り組んでいきます。



農地パトロールを実施しました

9月に各地域の農業委員・農地利用最適化推進委員による農地パトロールを実施しました。

これは、農地法による転用許可の履行状況の把握や、違反転用を早期に発見し是正指導を行うことを目的に毎年行っています。

農業者年金の加入推進 活動を行っています

農業者年金は、農業者の老後生活の安定のために、国民年金に上乗せして受給できる公的な終身年金です。税制面での優遇措置や、一定の要件を満たす方には保険料の補助もあるなど、農業者なら誰でも加入できるメリットの大きな制度です。

農業委員会では加入推進のため、各委員で年金制度の情報共有を図り、加入を希望する農業者に制度の説明や手続きをスムーズにできるよう農業者年金研修会を開催しました。

農業者の方で、農業者年金に加入希望の方や興味のある方は、ぜひお問い合わせください。



あなたの**農地有効**に活かせませんか

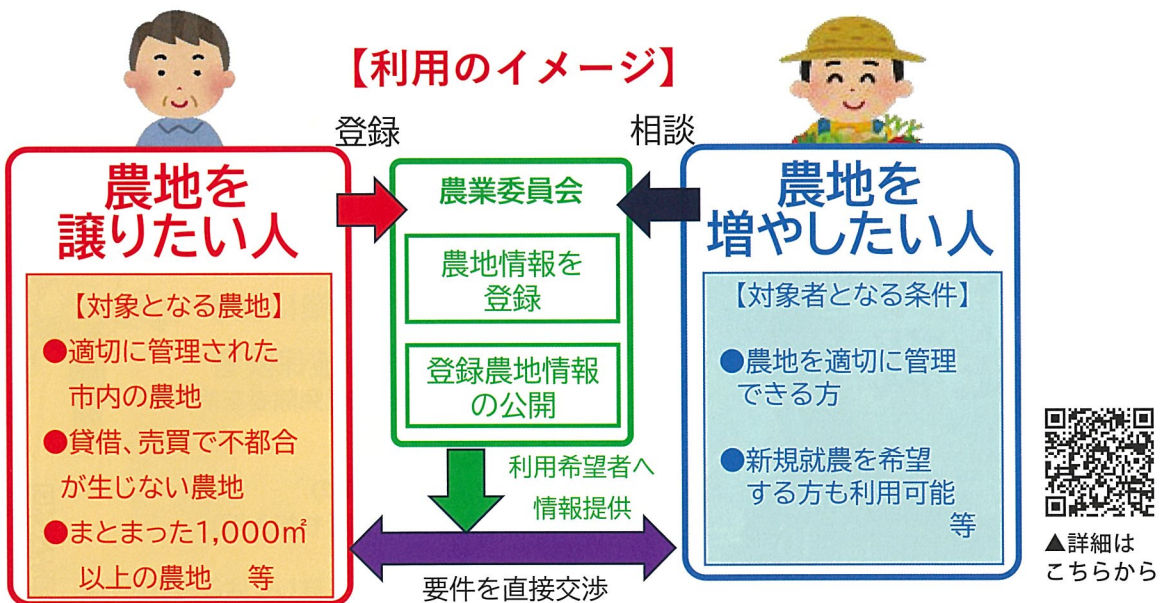
須賀川市農地情報提供制度

どんな制度？

①農地の耕作・管理が難しくなってきた方の農地情報を農業委員会がリストに登録

②登録した農地の情報は農業委員会がHP等に公開し、利用希望者を募集

③農業委員会は農地の利用を希望する方へ情報提供し、農地利用を促進



デジタル化を進めています！

農地の位置を特定し、効率的な現地調査の実施や、迅速な情報共有を図るため、タブレット端末を利用しています。操作に苦労することもあります。農地の正確な位置情報の把握が容易となり、調査の精度が向上しました。今後も各委員で操作方法を確認し、業務の更なる効率化を進めたいと思います。 広報委員 関根 隆二



こども園の 田植え体験に 協力しました



五月晴れの空の下、仁井田地区の農業委員・推進委員が協力し「仁井田の杜わかばこども園」の園児約50名が田植え体験を行いました。

初めて田んぼに入った子ども達は普段できない体験に興味津々！泥だらけになりながらも一生懸命楽しそうに田植えをしていました。

農業委員会では今後も、「食」と「農」の未来を支えることを目的に、地域の子ども達が農業に触れる機会を大切にし農業体験の支援活動に協力していきます。



農業者年金に**加入**しませんか？

3つの要件を満たせば
どなたでも加入できます。

- ① 年間60日以上農業に従事
- ② 国民年金第1号被保険者
(国民年金保険料納付免除者を除く)
- ③ 60歳未満
(60歳以上65歳未満の
国民年金任意加入者も加入可)



詳しくはこちらから▶

福島県

「うまい米」 決定戦

第28回

米・食味分析鑑定コンクール
国際大会 in 須賀川岩瀬
プレ大会

2025
11/16
10:30~14:45

会場 須賀川市民交流センター tette
たいまつホール
(須賀川市中町4-1)

主催 「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」 in 須賀川岩瀬実行委員会
お問合せ/須賀川市 経済環境部 農政課 TEL 0248-88-9139

広報委員紹介

- ◆ 橋本 孝一(委員長・小塩江地区)
- ◆ 吉田 和男(副委員長・西袋地区)
- ◆ 関根 隆二(大東地区) ◆ 宗像 敏雄(稲田地区)
- ◆ 古川 修一(岩瀬地区) ◆ 根本 充佳(仁井田地区)
- ◆ 有我 康志(浜田地区) ◆ 森田 正樹(長沼地区)



広報委員 吉田 和男

今年の夏は、最高気温を連日更新するよじな「酷暑」とも「激暑」とも言える、うだるような暑さでした。やはり世界的に温暖化が加速しているのでしょうか？

そして想定外は「暑さ」だけでなく、肥料や農薬等の農業資材価格がどんどん高騰していて、農作物の価格におのずか影響が出てしまっているのが当然のことです。

秋の収穫期を迎え、黄金色の田んぼを眺めながら今年は農家にも消費者にも納得のいく米価であることを願っています。

今後も、編集委員一同「かけはし」をとおして、農業委員会の活動や地域の話題など、情報発信をしてまいりますので引き続きよろしくお願ひいたします。

編集後記